

bergmann



Magne

Manual

[取扱説明書]

もくじ

| | |
|--------------------------------|----|
| 本機の概要..... | 3 |
| 梱包内容..... | 3 |
| ご使用上の諸注意 (使用/設置/接続/電源コード)..... | 4 |
| 各部の名称と機能..... | 5 |
| セットアップのしかた..... | 6 |
| レコード再生のしかた..... | 9 |
| セットアップのヒント..... | 10 |
| お手入れのしかた..... | 10 |
| 保証..... | 11 |
| 主な仕様..... | 12 |

本機の概要

このたびは、bergmann"Magne"をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

Bergmann "Magne "(バグマン "マグネ")は、独自のエアベアリング技術によって重量級ターンテーブルとリニアトラッキング・トーンアームをフローティングさせる高度な機構によって高いトラッキング精度を実現しレコード再生に理想的環境を与えるアナログ・ターンテーブル・システムです。

ターンテーブル・プラッターは、精密加工されたアルミ素材の5.5kg メインプラッターの内側に1.5kg サブプラッターを配した二重構造。サーボ制御のDC モーターによって正確にベルトドライブされます。総重量7kg のこのプラッター・アッセンブリーは、エア・サブライ・ユニットから送られる圧縮空気によってプラッターを完全にフローティングし、回転摩擦抵抗を極限にまで低減させています。

エア・サブライからの空気は、プラッターとは別にアームパイプにも送られ、パイプに開けられた微小な吹き出し口から静かに噴出。

アームパイプより一回り大きな内径のスライディング・パイプを、アームパイプに対して同心円状に完全に浮かせて非接触とし、摩擦ロスを完全に排除。カートリッジ針先に対して直角移動動作が要求されるリニアトラッキング・トーンアームのスムーズな動きを妨げる要素を皆無とする革新のメカニズムです。

機械的接触を極限にまで追放するこのエアベアリング機構によるターンテーブルとトーンアームのフローティングは、他のリニアトラッキング方式に比して、圧倒的に優れた周波数応答力をもたらす、自然な音像を再現する鮮明な過渡応答と重みのある低域レスポンスを実現。音溝に刻まれた情報をアキュレートにピックアップし、音のディテールやニュアンスを余すところなく再現する高い能力をもたらします。



梱包内容

本機は段ボール箱内のクッション材に各パートが分散して配置されていますので注意深く取り出してください。内訳は次の通りです。

- 本体 (トーンアーム組み込み済)
- エア・サブライ・ユニット
- プラッター
- サブプラッター
- スタビライザー
- パワーサブライ
- 付属パーツ: オイル / ゴムベルト / トーンアーム・ウェイト / ヘッドシエル取付ネジとナット2セット / 針先位置調整プレート / 水準器 / 調整パイプ (adjustment pipe) / 六角レンチ (4mm サイズ) / エアーチューブ / AC 電源コード 2本
- 取扱説明書
- 保証登録はがき

ご使用上の諸注意

本機の性能を十分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

■本機をセットアップする前、また、ご使用前には、必ず本取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

本取扱説明書には、本機の設定や操作についての重要な情報が含まれています。

本機の優れた機能・性能を存分に発揮させ長くご愛用いただくため、本説明書を熟読され、設置や操作の詳細についての十分なご理解のもと、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

■トーンアームの後部からは極めて細いリード線が出ています。梱包をほどく際、セットアップする際、また、ご使用の際には、リード線を引っ掛けたりして強い力が加わると断線の恐れがあります。特にご注意ください。

■ご使用時、ターンテーブルが回転している間は、決してエアーサプライの電源を切らないでください。

■ご使用後は、時々、エアーサプライのダストフィルターが埃で汚れたり目詰まりしていないかチェックしてください。もし、汚れや目詰まりが激しい場合は、ダストフィルターの清掃または交換を行なってください。

■本機のお手入れには柔らかい布をご使用ください。水やダストスプレー、溶剤、研磨剤、クリーニング剤等を筐体に直接に付けることは避けてください。

■本機を、水のかかりやすい場所、湿気が多い場所で使用しないでください。

■特にエアーサプライやパワーサプライに水がかかると火災や感電等の危険が生じます。もし、これらに水がかかった時は、すぐに電源コードをコンセントから抜いてください。その上で、お買い求めの販売店に対応をご相談ください。

■火災や感電等の危険を避けるため、エアーサプライやパワーサプライのカバーを外したりしないでください。

それらの内部にはお客様に調整していただく箇所はありません。

■本機を、暖炉やストーブなど熱源の近く、あるいは熱を発生する機器の付近で使用しないでください。

■本機を、直射日光の当たる場所、あるいは低温になる場所で使用しないでください。

■本機は指定された電源以外では使用しないでください。

[設置について]

■リニアトラッキングアームを搭載した本機の設置は、特に水平バランスが極めて重要です。設置個所は揺れなどがなくしっかり固定され、水平がきちんと保たれたラックなどをお選びください。

[接続の前に]

■接続は、本機および接続する機器の電源コードをすべて抜いてから始めてください。

[付属電源コードの取扱いについて]

本機(電源ユニット)に付属している AC 電源コードは、本機専用のものです。他の機器にはご使用になれません。

各部の名称と機能



セットアップのしかた

1. まず本体を水平がきちんと保たれたしっかりしたラックなどにおいてください。

(注意:本体の脚部は下側に小さなスパイク状の突起があります。置いた後、位置をずらす際に引きずったりするとラックなどの表面を傷つける恐れがあります。位置を動かす時は本体を持ち上げてから静かにゆっくりと降ろしてください)

2. 付属のオイルを軸受の穴に(穴の半分ほどの量を)注入します。(Pic1)

サブプラッターを(フラットな面を上にして) 軸受にゆっくりとはめます。(Pic2) はめたサブプラッターを、一旦、引き上げます。

オイルが軸受からわずかに溢れる程度が適量です。(Pic.3)

軸受の周囲やサブプラッターの下面に溢れた余分なオイルをきれいに拭き取ってください。

(注意:オイルがついたまま動作させるとエアノイズの原因となります。また、軸受のすぐ傍のエアベアリングの吹き出し口にオイルが入り込まないように留意してください)

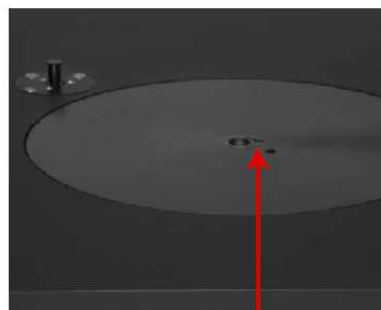
オイルが適量であれば、正式にサブプラッターを軸受にはめてセットします。



Pic. 1.



Pic. 2.



Pic. 3.

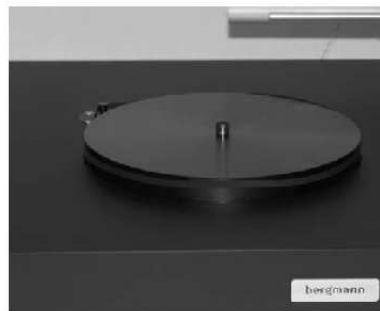
溢れた余分なオイル

3. 付属のゴムベルトをモータープリーとサブプラッターの周囲にかけます。(Pic4&5)

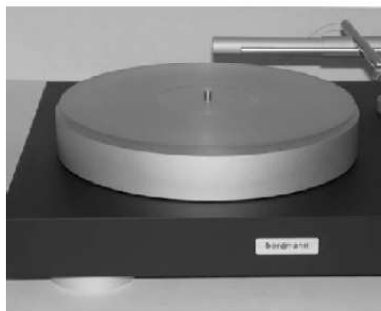
プラッターをサブプラッターの上に重ねてセットします。(Pic.6)



Pic. 4.



Pic. 5.



Pic. 6.

4. エアサプライを適当な場所(※)に置き、付属のエアチューブの一端をエアサプライのエア出力に、もう一端を本体のエア入力に繋がります。(エア出力/入力端子はねじ込み式のホルダーが付いていますので、これを一旦外し、エアチューブを通し、チューブを端子に奥まで差し込み、ホルダーをねじ締めて固定します) (Pic.7) (※ 室内環境に置くことが肝要です)



Pic. 7.

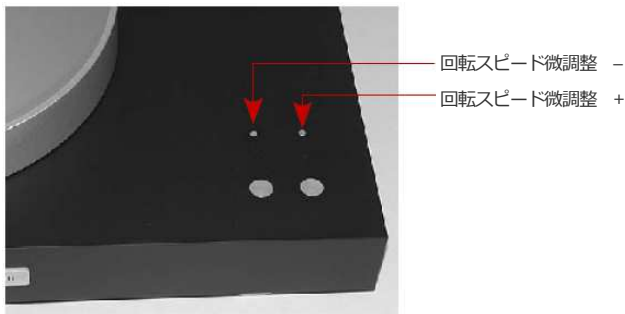
5. エアーストライに付属の AC 電源コード繋ぎ、AC100V(50Hz/60Hz)の壁コンセントに繋いでから、エアーストライの電源を入れます。パワーストライの DC コネクターを本体のパワーストライ(DC 電源)入力端子に差し込み、付属の AC 電源コードを AC100V(50Hz/60Hz)壁コンセントに繋ぎます。エアーストライの電源を入れ 33 RPM ボタンまたは 45 RPM ボタンを押し、ブラッターが、スムーズに静かに回転を始めることを確認してください。

もし、回転時に異音が出たらエアフロー調整が必要です。→本体後面のエアフロー調整バルブをマイナスドライバーで左右に回し適正なエアフロー量となるよう調整します。(エアフローバルブは左に回すと吹き出しが強くなり、右にまわすと弱くなります)

6. ブラッターの回転が数秒後に安定したら、正確な回転数になるように回転スピード・ボタンで微調整を行ってください。(Pic.8)

(回転数チェックには市販のストロボスコープなどをご利用ください)

注意:ブラッターの回転中は絶対にエアーストライの電源を切らないでください。サブブラッターの傷付きやベルト損傷など、故障の原因となる場合があります。

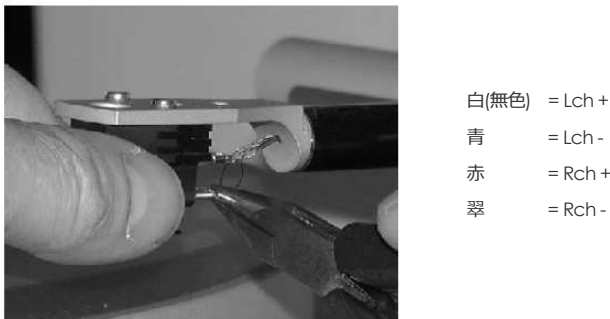


Pic. 8.

7. カートリッジをヘッドシェルに取り付けます。(Pic.9)

リード線クリップをカートリッジのピンに差し込みます。(リード線の色とカートリッジのピンに表示された色を合わせるよう注意)

注意:リード線は極めて細いため、リード線クリップの取り扱いには余計な力が加わらないよう最大限の注意を払ってください)

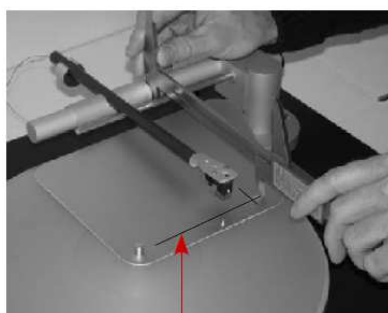


Pic. 9.

8. 針圧調整: カウンターウェイトを取り付けます。

エアーストライを ON にし、トーンアームが抵抗なくスムーズにスライドすることを確認(※)し、カウンターウェイトを前後させてカートリッジの適正針圧を調整します。(※抵抗がある場合はエアフローバルブの調整をします。→14.項を参照)

9. (ブラッターが回転していない状態で)エアーストライを OFF にし、{針先位置調整プレート} をブラッターにセットします。プレートに刻まれた線(Pic.10 の groove)がエアパイプと平行になるよう、メジャーを使って、エアパイプに対して groove 両端の距離が等しくなるようにプレート位置を調節してください。(Pic.10,11,12)



Pic. 10. groove



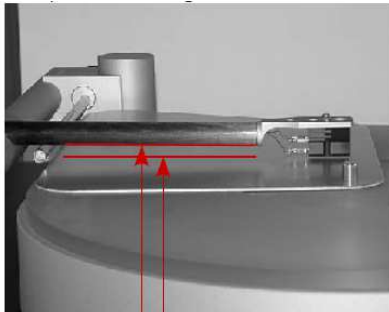
Pic. 11.



Pic. 12.

10. トーンアーム高さ調整: 付属の六角レンチでトーンアーム後部のねじを緩め、トーンアームチューブとプレートが平行になるようにアームの高さを調整し、ねじをしっかりと締めます。(Pic.13)

注意:この調整は針先をプレートに降ろした状態で行いますので、余分な力を与えて針先を傷めないよう十分注意してください。

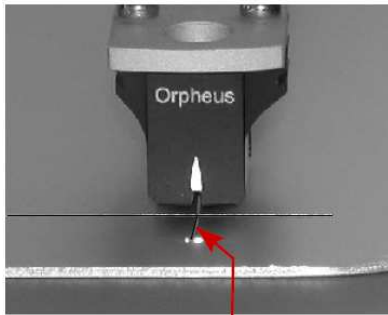


Pic. 13.
平行

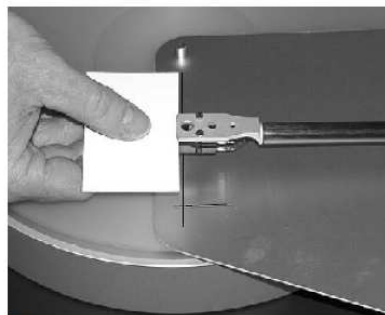
11. 針先の前後位置調整: まず始めに、カートリッジがヘッドシェルに真直ぐマウントされているかを確認し、もし曲がっている場合は、カートリッジ取り付けねじを一旦緩め、正してから締めなおします。(Pic.14,15)

付属の六角レンチでアームベースの2本のねじを均等にすこし緩め、アームを前後させて針先がプレートに刻まれた線の上にぴったりくるように調整します。位置が決まったら2本のねじを均等に軽く締めおきます。(Pic.16,17)

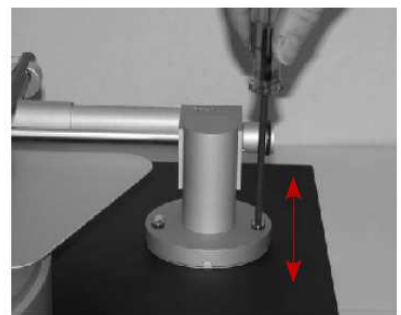
注意:この調整も針先をプレートに降ろした状態で行いますので、余分な力を与えて針先を傷めないよう十分注意してください。



Pic. 14.
十字線



Pic. 15.



Pic. 16.



Pic. 17.

12. ヘッドシェルを前から見ると、スライディング・パイプに対する完全な平行性を保ってトーンアームに固定されています。そのため、マウントしたカートリッジのアジマスは極めて正確となります。

しかし、もし、カートリッジそのものの針先の垂直度が狂っていてアジマス調整が必要な場合は、カートリッジとヘッドシェル間にスペーサーなどを入れて補正する必要があります。

13. トーンアームの水平バランス調整: この調整を行う前に、付属の水準器を利用して、本体の水平を確認してください。もし、水平でない場合は、本体の三つの脚を回して各脚の高さ調整をし、完全に水平バランスをとってください。

注意: 本体の脚部は下側に小さなスパイク状の突起があります。調整の際は、本体をわずかに浮かせるなどして、置いているラックなどの表面に傷が付くのを防いでください。

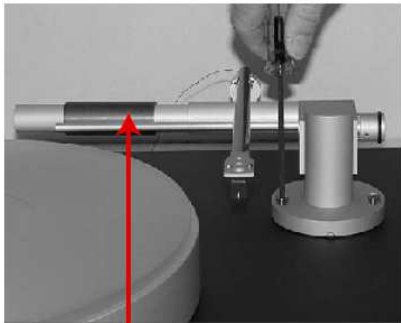
水平が確認されたら、エアーサプライを ON にします。

アームベースの左右 2 本のねじの締め具合でトーンアームの傾きを微調整し、アームの水平をとります。

(右のねじを緩め左のねじを締めるとアームの左が下がります。逆にすると上がります)

調整パイプ (adjustment pipe) をエアパイプにはめ、調整パイプが左右に流れない状態がアームの水平です。

(この調整は、音溝の刻まれていないフラットなテスト LP を使用すると、より厳密に行なえます)

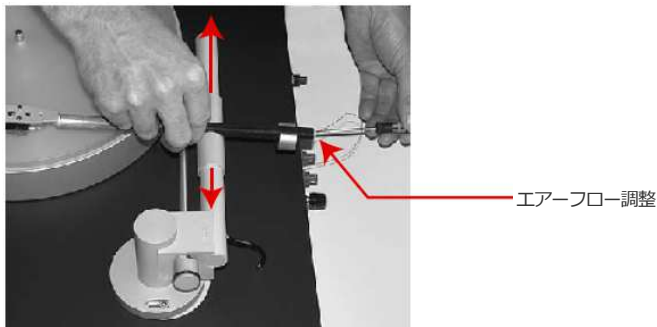


Pic. 18. 調整パイプ (adjustment pipe)

13. エアフローバルブ調整: トーンアームはエアーベアリングによってスムーズに動きます。もし、スムーズに動かず抵抗がある場合は、本体後面のエアフロー調整バルブ (トーンアーム) をマイナスドライバーで左右に回し適正なエアフロー量となるよう調整します。

(エアフローバルブは左に回すとエアーの吹き出しが強くなり、右にまわすと弱くなります) (Pic.19)

注意: アームの動きのスムーズさを確認するためには、アームリフトを降ろした状態がベターですが、その際は、針先をぶつけたりして損傷させないように十分ご注意ください。



Pic. 19.

レコード再生のしかた

1. エアサプライを ON にします。
2. プラッターにレコードを乗せ、中央にスタビライザーをセットし、回転ボタンを押してプラッターを回転させます (33 回転レコードの場合は 33 RPM ボタンを、45 回転レコードの場合は、45 RPM ボタンを押します)。
3. アームリフトのつまみを右 (奥手) に回してアームを上げた状態で、スライディング・パイプをやさしく手で押して、針先をレコード面の再生位置に移動させます。(ヘッドシエルを押しての移動は避けてください)
4. アームリフトのつまみを左 (手前) にゆっくり止まるまで回して針を降ろします。
5. 再生が終わったら回転ボタンを押します。惰性でしばらく回転していますが、手で無理に止めないで、自然に止まるまでお待ちください。(レコードを替える際は、プラッターの回転が止まってから行なうようお勧めします)

セットアップのヒント

エアベアリング機構によるターンテーブル/トーンアームを搭載する本機をベストコンディションで動作させるには、次の通りいくつかの重要なポイントがあります。

ターンテーブルについて:

1. 本体は完全に水平に置くこと。(これによってプラッターの完全な水平バランスが確保されます)
2. 適正なエアフロー量であること。(少なすぎると抵抗が生じスムーズな回転が妨げられます。多すぎる必要はありません、プラッターがスムーズに回転しさえすれば、サブプラッターの下面にエアベアリングを形成するごく薄い空気膜が形成されています)
3. サブプラッターの底面と軸受の周囲はオイル浸みなどがなくクリーンであること。(オイル浸みや汚れはエアノイズの原因になったりスムーズな回転を妨げたりします)

トーンアームについて:

1. エアパイプは完全に水平であること。(本体を完全に水平にセットし、トーンアームの水平バランス調整を正確に行ないます)
2. エアパイプとスライディング・パイプはいつもクリーンに保つこと。(特にエアの吹き出し口であるエアパイプ上の小さな穴には埃などが詰まらないよう配慮してください)
3. 適正な針圧調整を行なうこと。
4. 適正なエアフロー量であること。(少なすぎても多すぎてもエアパイプとスライディング・パイプが接触して抵抗が生じトーンアームのスムーズな動きが妨げられます。トーンアームが抵抗なく左右にスムーズに動けば良好です)

お手入れしかた

ターンテーブル:

年に一度は各部の状態が適正であるかどうかチェックをし、必要であれば再調整してください。

特に重要なチェックポイントはオイルの量です。

本機のお手入れには柔らかい布をご使用ください。水やダストスプレー、溶剤、研磨剤、クリーニング剤等を直接つけることは避けてください。

エアサブライ:

時折、ダストフィルターの汚れ具合をチェックし、クリーンに保ってください。汚れが激しい場合はフィルターを清掃するか交換してください。(激しい汚れのまま使用するとエアポンプ故障の原因となります)

筐体のお手入れには柔らかい布をご使用ください。水やダストスプレー、溶剤、研磨剤、クリーニング剤等を直接つけることは避けてください。

保証

本機の保証はアクシス株式会社が行ないます。

同梱の保証登録カードに必要事項をご記入の上、ご購入後 10 日以内に下記宛にご返送ください。

折り返し、保証書をお送りいたします。

無償保証期間は 2 年間です。

保証についての詳細は、保証書をご覧ください。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27

アクシス株式会社

TEL 03-5410-0071 / FAX 03-5410-0622

主な仕様

ターンテーブル

エアベアリング・メカニカルデザイン

DCサーボモーター、ベルトドライブ、33&45 rpm(微調可)

筐体：

ソリッド・ハイデンシティィー・コンポジット素材

プラッター/ベアリング：

アルミプラッター/ポリカーボネートマット、エア・フローティング

スチール・スピンドル/低摩擦ポリマーベアリングによるセンターリング

プラッター：重量：5.5kg。

サブプラッター：アルミニウム / 重量：1.5kg

外形寸法：495W X 165H X 440D (mm)

総重量：18.5kg

トーンアーム

リニアトラッキング・エアベアリング・トーンアーム

アルミ/カーボン (パイプ内ダンブ材装填)

デ・カップリング・カウンターウェイト

調整：トーンアーム高/水平度、針先前後位置、筐体水平度レベリング

ワイヤー：高品質銅リッツ線

シェルリード端子：金メッキ銅

コネクター：RCA、XLR、DIN のいずれか

有効質量：11g

セバレート・DCモーター・パワーサプライ

電源、消費電力：100VAC 50/60Hz, 2W

エアサブライ

サイレント・クリーン・スムーズ・エアフロー。リセプタクル・フィルター

外形寸法：150W × 160H × 330D (mm)

重量：8kg

電源、消費電力：100VAC 50/60Hz, 8W

AXISS

輸入発売元：アクシス株式会社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27 TEL:03-5410-0071 / FAX:03-5410-0622

E-Mail: post@axiss.co.jp Web: www.axiss.co.jp

©2015.10